

明治ホールディングス株式会社

2024年8月23日

報道関係者各位

「明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森®」が グローバルに自然が保全されている地域として認められました

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫）は、事業子会社の K Mバイオロジクス株式会社（代表取締役社長：永里 敏秋）が所有する自然共生サイト「明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森®（以下、こもれびの森）」が、OECM（Other Effective area-based Conservation Measures：保護地域以外で生物多様性保全に資する区域）として国際データベース※¹に登録されましたのでお知らせします。

<https://www.protectedplanet.net/555781429>

明治グループは、2022年に開催された生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）にて採択された「昆明・モンリオール生物多様性枠組」で掲げられた2030年までのグローバルターゲットの一つとして、陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標（30by30目標）に賛同し、「こもれびの森」などの生物多様性の保全活動に取り組んできました。



「こもれびの森」は、里山の樹木が生育し、絶滅危惧種も確認できる豊かな森です。2023年前期で「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として「自然共生サイト」に認定されました。2024年には緑の認定SEGES（シージェス：社会・環境貢献緑地評価システム）「そだてる緑」部門の「Excellent Stage 3」に更新しました。



明治グループの事業は、生乳やカカオ、乳酸菌、抗生物質に代表される微生物など、豊かな自然の恵みの上に成り立っています。企業活動を通じて生態系および生物多様性の保全に努め、自然と共生していくことは私たちの責務です。これからも自然資本経営を推進することでネイチャーポジティブの実現を目指してまいります。

■「こもれびの森」の概要

- ・立地：熊本県菊池市旭志川辺1314番地1 KMバイオロジクス（株）菊池研究所敷地内
- ・面積：総面積は約6.3ha
- ・概要：阿蘇外輪山の麓に広がる丘陵地に位置し、里山的な樹種が育った自然環境が形成されています。敷地内には環境省レッドリストに掲載される絶滅危惧種が生息しています。

「こもれびの森」は明治グループKMバイオロジクス株式会社の登録商標です。



※1 国際データベースについて

保護地域以外で生物多様性保全に資する区域（OECM）に関する最も包括的な国際データベースとして、世界保護地域データベース（WDPA）および世界 OECM データベース（WD-OECM）がある。国連環境計画（UNEP）と国際自然保護連合（IUCN）の共同プロジェクトであり、国連環境計画世界自然保護モニタリングセンター（UNEP-WCMC）が、政府、非政府組織、学界、産業界の協力を得て管理している。世界の 30by30 目標の達成状況は、このデータベースに基づいて評価される予定。

【参考情報】

- ・明治グループ 生物多様性に関する取り組み
<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/biodiversity/>
- ・明治グループ 生物多様性保全活動ポリシー
https://www.meiji.com/pdf/sustainability/harmony/biodiversity-biodiversity_conservation_activity_policy.pdf
- ・明治グループの長期環境ビジョン
<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/#content-1>

- ・ 明治グループのネイチャーポジティブ宣言
https://www.meiji.com/pdf/sustainability/harmony/biodiversity-nature_positive_declaration.pdf
- ・ 環境省自然共生サイト
<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-3273-3917 メールアドレス : mhd-pr@meiji.com